

毎週日曜発行  
2026 3/22

こども新聞  
週刊がほピョンプレス

河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)



東日本大震災の発生から11日で15年が経過しました。今月の「学ぼう防災」は、このコーナーを担当する仙台市防災・減災アドバイザー早坂政人さん(42)に当時は振り返ってもらったよ。消防士として沿岸部の最前線で活動し、津波に巻き込まれた人の救助活動に当たったんだ。

震災当時は仙台市青葉区の消防署国見出張所に所属し、救急隊員の仕事をしていました。沿岸に向かったのは震災翌日の朝日が昇る前で

### 東日本大震災15年に寄せて

仙台東部道路に集められました。徐々に空が明るくなるのが見え、ヘリコプターが救助を始めました。「あの人が今から救急搬送するのか」。何だか、現実感がありませんでした。ヘリコプターが道路に着陸し、ストレッチャー

で救急車に運びました。泥だらけの男性で、けがをしていましたが、会話はできませんでした。津波に巻き込まれた人を救助するのは初めての経験でした。脈は安定しているか。体は冷えていないか。市内の病院に搬送するまで必要な処置をしつつも、もっと踏み込

んで被災状況を聞いていいのかどうか、言葉に詰まった記憶があります。翌日以降は2、3日に一度、捜索活動にも参加しました。道端に敷かれたブルーシートに数人ずつ亡くなった人が安置されていました。大学生くらいの若い人を見たときはハッとしました。それまでも救急の現場で亡くなる人を見て

## 胸痛む過酷な生死の現場



震災当時の救助活動を振り返る早坂さん  
=2日、仙台市役所

いましたが、健康な人も命を落とす現実に胸が痛み、津波の怖さを身をもって感じました。津波は当時の想定を超え、広い範囲に押し寄せました。今は震災の経験を踏まえ、新しいハザードマップが作られています。他にも震災から15年がたち、新しい考え方や制度が取り入れられています。最新の知識を身につけ、命を守る行動を取ってほしいと思います。

### この日 何の日

◇24日(火) 人力車発祥の日  
1870年のこの日、東京・日本橋で人力車の営業が始まりました。明治、大正時代は庶民の移動手段として利用され、現在は観光地などで見られます。宮城県内でも日本三景・松島で走っているよ。

### ページの紙面

- 2面 ニコ☆プチ
- 3面 3分チャレンジ
- 4・5面 わが校わがまち スクール通信
- 6面 キホンがわかる こども英語
- 7面 投稿特集
- 8面 Let's try 防災クッキング

きょうのテーマ

みんなの将来

みんな動こう

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ



はやさかアドバイザーの

学ぼう防災

36